

【学校だより】

南アルプス市立小中一貫校 芦安小中学校

芦安っ子

【学校教育目標】

郷土を愛する心と夢を育み
未来を拓く人づくり

令和2年3月23日 NO.11 芦安小学校長

第134回芦安小学校卒業証書授与式

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、市内すべての学校が3月5日から臨時休業になってしまいました。

卒業式につきましては、来賓・保護者・在校生の参加が見送られ、時間短縮、マスク着用などの措置をとり19日に行いました。卒業生5名の晴れの門出を在校生も含めみんなで心温まる思い出の卒業式にしようと合唱や呼びかけに取り組んでいましたが、当日は卒業生と職員だけの参加になってしまいました。しかし、5名の卒業生は、落ち着いた立派な態度で卒業証書を受け取り、決意も新たに卒業しました。これからの卒業生一人一人の活躍を心から期待しています。

卒業式当日は、校長の式辞も大変短く申しあげましたので、全文を掲載させていただきます。

式辞 (卒業生に贈る言葉)

巣立ちの時を迎えた卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。皆さんの卒業を心からお祝い申し上げます。

校舎や校庭の木々には、やわらかな春の日差しが降り注ぎ、御勅使川の清らかなせせらぎにも、新しい春の息吹が感じられる佳き日となりましたが、今年度の卒業式は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、学校は3月上旬から臨時休業になり、本日の卒業式は卒業生と職員だけの参加となり、例年と違った卒業式になってしまいました。卒業生と保護者の皆様の心中察するに余りありません。しかし、今はぐっと耐えて力を蓄え、大きく羽ばたく時を待つ時期と考えることもできます。

卒業生の皆さんお一人お一人には輝かしい希望に満ちた未来があります。自分たちで決めた卒業式のテーマ「希望という名の翼で未来へ羽ばたこう」のテーマのように、明るい未来を信じて、精一杯羽ばたいてください。

皆さんは、力を合わせ、伝統と特色ある芦安小学校をさらに魅力ある学校へと築き上げてくれました。

皆さんが心身共に、たくましく成長され、今日の日を迎えることができたのは、決して自分の力だけではありません。

幼い頃から皆さんの健やかな成長を一心に願い、一生懸命に育ててくださった家族の皆さんの温かい愛情がありました。

また、学校生活を優しく見守り続けてくださった地域の皆様のお力や愛情も決して忘れてはなりません。

そして、いつも優しく、時には厳しく愛情をもって指導してくださった先生方や、強い絆で結ばれた仲間力もありました。

これまでお世話になった、たくさんの方々への感謝の気持ちをこれからも持ち続けてください。

芦安小中学校の具体目標の一つに、「相互依存によって自立する」という言葉があります。困ったときや分からないときには、自ら助けを求め、仲間や先生を頼っていいんだよということです。そして、仲間から頼られた時には、丁寧に説明してあげてくださいということでもあります。そうすることにより、信頼できる友達や人間関係、居心地のよい学級を創ることができます。「自立するためには依存できなければならない」とも言われています。

親切にされた人は、心がほんわか温かくなり、親切にできる人になれると思っています。

卒業生の皆さんは、全員がとっても優しく、いいところをたくさんもっています。芦安小学校で学んだことを誇りに、中学校に進学しても、自分の素晴らしいところを信じて精一杯がんばってください。皆さんのこれからの健闘を心よりお祈りしています。

保護者の皆様にお祝いを申し上げます。

お子様の御卒業、おめでとうございます。

小学校入学からの6年間には、たくさんの喜びとともに御苦勞もあったことと思います。

できるようになったことが増え、お子様の成長を実感するとともに、悩みや御苦勞も増えたのではなかったかと推察いたします。その苦勞や悩みを乗り越えたからこそ、こんなに立派に成長されました。本日の凜とした姿を見るにつけ、感慨もひとしおのことと存じます。

結びになりましたが、保護者の皆様には、今日まで、芦安小学校に対し、御支援・御協力を賜りましたことに、心より厚く感謝申し上げますと共に、今後も、これまでと同様の御理解と御支援・御協力をお願い申し上げ、式辞といたします。

令和2年3月19日

南アルプス市立芦安小学校 校長 名取 昭彦

